

広島市歯科医師会だより

新年特別号

令和三年

目次

年頭あいさつ

新春対談

年男年女

クロスワードパズル

年頭あいさつ



謹賀新年

一般社団法人 広島市歯科医師会
会長 熊谷 宏

新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、令和3年の新春をつつがなくお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。私たち執行部も、予定していた事業の実施の可否に振り回される毎日だったように思います。

同時に、コロナ禍から会員・会員診療所をいかに守るかについて、全力を尽くした1年でもありました。決してご満足いただけるものではなかったかと思いますが、何卒ご容赦いただければと思います。

さて、新年を迎えるにあたり、表紙にありますように、東広島市にある安芸国分寺において護摩行を行ってまいりました。そこでは、①新型コロナウイルス感染症の収束、②広島市歯科医師会会員並びにご家族のご健康とご多幸、③会員診療所の経営安定 を祈願して参りました。安芸国分寺は、奈良時代に聖武天皇の詔により日本各地に建立された国分寺のうち、安芸国国分僧寺の後継寺院にあたる由緒あるお寺です。必ずや、御祈願が成就するものと信じております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、例年実施している新年互礼会を残念ながら中止させていただきました。来賓の皆様をお迎えし、会員の先生方共々新年のご挨拶をする大切な機会を開催できないことは残念でなりません。

その代わりと言ってはなんですが、書面を通じて、新年のご挨拶、会員間の交流の一助になればと、広島市歯科医師会だより「新年特別号」を発刊することといたしました。

メイン企画として、甲野峰基広島県歯科医師会会長と、令和の時代の歯科医師会のあり方について対談をさせていただきました。お忙しい中お時間をいただきました甲野会長にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年も、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、会長就任時にご提示した会長方針に則り、近隣の郡市地区歯科医師会や広島県歯科医師会とも調和を図りながら、執行部が力を合わせて市民・県民のお口の健康増進に努めて参ります。同時に、少しずつウィズコロナ・アフターコロナを見据え、会員の先生方の一体感を醸成するための親睦事業など、あるべき事業を少しでも実施していけたらと考えています。何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして実り多き年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年1月吉日



新年のご挨拶

一般社団法人 広島県歯科医師会
会長 甲野 峰 基

新年あけましておめでとうございます。

広島市歯科医師会会員の先生方におかれましては、新しい年をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年 1 月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、僅か数ヵ月で世界を変えてしまいました。感染予防に配慮する新しい日常の中で、人と接する機会を減らしながらも新しい枠組みの中で社会や経済を立て直しているところでもあります。

然しながら、我々の生業である歯科医業は、「オンライン診療」という言葉はあるものの、やはり直接患者さんと接して はじめて成り立つものであり、何かの折にお話したこともあります。地域歯科医療は「患者さんと心が通じ合う関係でなければ、いい治療はできない」と考えています。そういった意味合いから、私は「患者様」というより「患者さん」という表現を好んで使いますし、そこには先生と患者の距離感が大きく違うように感じています。やはり、歯科医療も“手当て”が基本ということですし、それがあれば本会にある「歯科医療安全対策室」に寄せられる県民からの苦情や相談件数が、大きく減少するものと感じています。私自身 安全対策室長を経験した関係で、何度か患者さんのもとに行って説明したり謝罪した経験から、心の通じる関係の大切さを痛感しているのです。

心の通じる関係は、会務にも同じことが言えます。県下 19 地区の会長をはじめ役員・会員の先生方とは、常に同じ視点でお話をさせていただき、顔の見える関係の中で先生方のご意見を聞きながらそれを少しでも会務に反映していきたいと思っていますところでもあります。2 年前の選挙公約の中でも謳っているように、「トップダウン」ではなく「ボトムアップ」の会務を心掛けています。自ら汗をかいて先生方とお会いすることで、私はその先生の考えや気持ちを知ることができますし、私の人となりを知ってもらいたいと思っています。

そういう積み重ねの中で、私は座右の銘である「礼節」を重んじ、常に相手の身になって筋を通した会務をこれからも心掛けて参りたいと思っております。どうか会員の先生方には、温かくも厳しいお気持ちでご支援下さいますよう切にお願い申し上げます。

なおこの度、同時期に会長に就任した広島市歯科医師会会長の熊谷宏先生と対談させていただく機会を頂きました。甲野執行部の一員でもありますので、いつもは「熊ちゃん」と呼ぶほどの仲ですが、普段以上に胸襟を開き、歯科医師会のこと、あるいは歯科界の未来について忌憚のない意見交換をしたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

新年のご挨拶



一般社団法人 広島県歯科衛生士会
会長 倉本 晶子

新年あけましておめでとうございます。

広島市歯科医師会の先生方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、会長熊谷先生はじめ、諸先生方には広島県歯科衛生士会の活動に、深いご理解とご高配を賜り衷心よりお礼申し上げます。

昨年は、東京オリンピック、パラリンピックの開催により希望に満ちた年になると期待していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令されるなど生活様式が大きく変わってしまい、当会においても地域での活動や研修会等の中止を余儀なくされました。

そうした中で、昨年あらたに始まった広島市の介護予防事業に、先生方のご指導により事業に協力させていただきましたことを、深く感謝申し上げます。

また、日本歯科衛生士会の「歯科衛生士のための COVID-19 正しい知識と対応」と題する e-ラーニングが 6 月から始まりました。多くの歯科衛生士が受講し、正しい知識の習得とスタンダードプリコーションの徹底が感染対策に必要であることを学び、歯科衛生士業務に活かされたことと幸いです。

本年もコロナ禍での対応が求められますが、歯科衛生士会として、社会のニーズに沿った口腔健康管理が提供できるよう人材育成・確保に取り組む所存です。また、口腔の健康が全身の健康に繋がることから、健康寿命の延伸に向けて地域で臨床の場で口腔健康管理の重要性について発信し、住民の健康に寄与できるよう尽力してまいります。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し平穏な生活が戻り、笑顔で顔の見える会話ができることを願っております。

本年もどうぞご指導ご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、広島市歯科医師会のますますの発展と先生方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春をお祝い申し上げます



一般社団法人 広島県歯科衛生士会
広島地区会会長 中田 正子

平素は当歯科衛生士会に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった昨年は、人生にあると言われる登り坂、下り坂、まさかの「まさか」の痛みを強く感じた一年でございました。その未曾有の事態に、私たち歯科衛生士も諸先生方のご助言をいただきながら、当会をはじめ、縦横の繋がりを通じて情報交換に

努め、それぞれの場所でより一層の緊張感と使命感を持って職務に携わって参りました。コロナ禍に対応するワクチン開発への期待は高まるものの、感染終息はもとより収束への道のりもまだ近いとは言えない現実を前に、私自身、コロナ慣れに陥らぬよう気を引き締めて新たな年の歩みを進めて参りたいと思っております。

現在の社会生活では、ソーシャルディスタンス、フィジカルディスタンス、マスク着用が常態化し、生活様式も急激に大きく変化しております。人と人とのふれあい、その触れ合いによって育まれる温もりを感じる機会は減少の現実です。口腔内においてはマスク下で乾燥が進み、健康に深く関わる唾液の効能は発揮されづらい状況にあると危惧されております。まだまだ受診を控える患者さまもないとは言えない現状において、私たち歯科衛生士は常に患者さまに寄り添う気持ちを大切に、確かな知識と技術をもって、より安心安全な歯科医療の一端を担うことができるよう努力して参る所存でございます。どうぞ本年もご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

広島市歯科医師会の今後益々のご発展と先生方のご健勝を祈念申し上げますと共に、令和3年が、全ての人にとって穏やかで、優しい年となりますよう心より願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

一般社団法人 広島県歯科技工士会
広島支部長 白井 政博

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は歯科技工士の活動に対し、ご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

昨年は新総理の誕生アメリカ大統領の交代に加え、全世界へ波及したコロナ禍と大きく変化を遂げた年でした。我々業界は現在も少なからずコロナの影響を受け続けており、早期のワクチン及び治療薬の開発を待ち望んでおります。

さて、歯科業界では昨年 CAD-CAM 冠が第二大臼歯を除いた全ての歯牙に保険適応になりました。デジタル化が進み、次はオーラルスキャナーで光学印象の時代到来かと言われております。しかし現時点ではデジタル印象に適しているケースとアナログ印象の方が良いケースがあり、広く情報を集めて精査する必要があると思われまます。オーラルスキャナーが今後保険診療に導入されることがあれば、慣れるまでは難しく大変ですがデジタルとアナログを上手に使い分け組み合わせることで、診療も楽になっていくのではないのでしょうか。歯科技工士会では歯科チームの一員としての役割を担っていくために様々な取り組みをしており、その1つとして6年前に CAD-CAM 冠が保険導入されてから、数回にわたり CAD-CAM に関する実技講習会を開催してまいりました。そしてもうひとつの大きな課題である歯科技工士の減少に伴い、技工業界もデジタル化を推進する必要があり、機械で製作可能なものはできるだけ機械にまかせ、先生方の診療にご迷惑をおかけすることのないようしなければなりません。今後も歯科医療チームの一員として技術の向上をはかり、先生方にご負担をかけることなくスムーズな対応が出来るよう努めてまいります。

最後になりますが夏にはオリンピックが控えており皆様には健康に留意され、この一年が素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

新春対談

「令和の時代の歯科医師会のあり方について」

広島県歯科医師会会長
甲野 峰基

広島市歯科医師会会長
熊谷 宏

熊谷会長：新年あけましておめでとうございます。本日は、広島県歯科医師会甲野峰基会長をお迎えし、ウィズコロナ下における歯科医師会のあり方、そして将来展望などについて、お話を伺えればと思います。甲野会長、よろしくお願ひいたします。

甲野会長：新年おめでとうございます。こちらこそよろしくお願ひします。



—広島県歯科医師会の会務執行について—

熊谷会長：まずは、会長予備選挙に当選されて会長予定者となってから2年、実際に会長に就任されてから1年6か月が過ぎたわけですが、甲野会長の広島県歯科医師会における会務執行についてお伺ひしたいと思います。

甲野会長：時がたつのは早いですね。先の会長予備選挙においては、広島市歯科医師会の先生方には、大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。会務執行においては、3名の副会長(新田、石田、林)に補佐していただき、実質的には広島市歯科医師会会員でもある山崎健次専務理事を中心に、3人の常務理事(森本、上川、久保)と12人の理事の先生方のお力をいただき、コロナの厳しい状況にも関わらず、なんとか順調に執行できていると感じています。

熊谷会長：先生は、情報公開に基づく民主主義的運営を通して、県歯会を風通しの良い組織へ返すというマニフェストで当選されました。私も、地方理事として、県歯会理事会に参加させていただいていますが、「報告事項は極力短く、しっかりとした協議を」、という甲野会長の意向が反映され、活発な議論が行われていると思います。先生の思い、ご苦労された点などをお聞かせください。

甲野会長：一部の役員によるトップダウンで会務を運営するのではなく、多くの先生方の意見を反映したボトムアップの運営が大切だと思っていますので、理事会でも極力、理事からの意見がでるような雰囲気づくりを行いました。熊谷理事や、福山の志渡澤理事や呉の西田理事からも、積極的な意見をいただきありがたいと思っています。いい方向に行っているのではないかと考えております。

熊谷会長：財務体質の改善も随分行われたように思います。



甲野会長：財務体質の改善は、会長予備選挙の公約でもありますので、極めて重要だと理解しています。そこで、食糧費はもとより、漠然と続けてきた協賛金など、すべての支出をゼロベースで見直しました。令和元年度決算では、数字上は360万円余の赤字ということになっていますが、これには訳がありまして、過去は計上してきた広島口腔保健センターと歯科衛生士修学支援事業に対する補助金収入、合計2140万円余を、会計上の問題で翌年の令和2年度に繰り越すという処理をおこないました。ですから、

例年通り令和元年度収入に計上していれば、この部分だけで1780万円の黒字となります。



熊谷会長：歯科医師国保組合の改革も断行されたようですが。

甲野会長：ご承知のとおり、広島県歯科医師国保は、国からの補助金の減額で、極めて厳しい状況にありました。また、互助会も単年度の赤字が続いており、改革は待ったなしでした。そこで、前執行部から懸案となっていました応能割負担の導入について、具体的に検討し、先日の組合会・総代会にて改革の方向性をご承認いただいたところです。もはや執行部だけでなく会員全体の意識改革が重要であり、心はつらいが、やらねばならないことをやったというのが実情です。いずれにせよ、市町国保に加入するよりも13%安い保険料となるようになっておりますので、様々なメリットがある広島県歯科医師国保に今後も安心してご加入いただければと思います。



—広島県歯科医師会と広島市歯科医師会の関係について—

熊谷会長：ありがとうございます。当たり前の話ですが、私たちは広島市歯科医師会の会員であると同時に、広島県歯科医師会の会員でもあります。甲野会長の下で、さまざまな改革が確実に実行されていることをうれしく思います。それでは、次に、広島市歯科医師会と広島県歯科医師会との関係につい

てお話をさせていただければと思います。甲野会長と私は同時に会長になりましたが、広島県歯科医師会には、いろいろな意味で、広島市歯科医師会にご配慮いただき、会長として本当にありがたく思っているところです。甲野会長は、広島県歯科医師会と広島市歯科医師会との関係をどのように考えておられますか？



甲野会長：私は広島県歯科医師会の会長ですから、広島市歯科医師会は、19ある郡市地区歯科医師会の一つであるというのがまずは基本的なスタンスです。しかし、広島市歯科医師会の会員数は、広島県歯科医師会会員数の約3割を占めるわけですから、その影響力は大きいことに間違いありませんし、県歯会と広島市歯が良好な関係でいることは、県歯会の会務執行にとっても極めて重要なことであると考えています。幸い、熊谷会長とは、ゴルフのライバルでもあります(笑)、会務以外でもしっかりと意思疎通がえられているので、現在もいい関係だと思っています。

熊谷会長：ありがとうございます。今後とも広島市歯科医師会をよろしく願いいたします。さて、甲野先生は、佐伯歯科医師会の会長を長く務められましたが、いわゆる、広島市域の歯科医師会が行政区と一致していないという問題についてお伺いしたいと思います。

甲野会長：佐伯歯科医師会をご存知の通り、佐伯区と廿日市市を管轄エリアとしていますので、2つの行政とのやり取りをしてまいりました。市民、区民に均等な公衆衛生サービスを届ける観点からも、難しい舵取りとなりますが、諸先輩方の叡智により、正しい運営ができています。

—いわゆる広域合併について—

熊谷会長：いわゆる、広域合併の議論についてはどうお考えでしょうか？

甲野会長：広島市、佐伯、安佐、安芸歯科医師会には、それぞれ会員の親睦をはじめ、長年培ってきた組織の歴史があります。その歴史は大切にすべきです。現在、4つの歯科医師会で構成される広島市歯科医療福祉対策協議会が、行政広島市からの委託事業を実施しています。これについては、広島市歯科医師会の皆様には大変お世話になっていると思っています。広島市民への公平な市民サービスという観点からは、先輩方の叡智から生まれたこの広島市歯科医療福祉対策協議会をベースに今後も考えていくのがよいと思っています。県歯会長の立場で申し上げますと、もし4地区の歯科医師会が合併して一つの歯科医師会になると、その歯科医師会は県歯会会員の半数近くを占めることになり、郡市のバランスという観点で他の郡市の先生方から不安の声が上がるのが予想できますので、その点への配慮も必要だと思えます。



熊谷会長：私は、広島市歯科医師会が毎年発行する「太田川」で、「それぞれの歯科医師会が親睦を通じた長い歴史を有していること、位置的にも中心にある広島市歯科医師会の会員規模が他の地区の3倍以上であることなど、3地区歯科医師会の皆様の不安に心を寄せる必要があります。県レベルでは、現在においても県歯会会員の約3割近い会員数である本会が、広域合併を行うと、県歯会代議員の半数近くを有することになることに不安を感じられる向きがあることなども理解しなければなりません。」と述べました。そういう意味では先生と同じ考えです。歯科医師会という形をどうするかを考える前に、それぞれの歯科医師会が胸襟を開いて本音をぶつけ合いながらも親睦・融和を図ることが大切ではないかと思っています。



甲野会長：私はそのような課題に対処するためにも「若い世代への継承」を唱えています。社会の常識が歯科医師会の非常識といったことにならないよう、広い視野をもった先生方がリーダーシップを取る。リーダーシップとは、他人に権限を持たせて、他人を光らせることであり、決して自分ばかりで物事に対処してはならない。自分の意見を発信するのは大事だが、突っ走り過ぎるのは良くない。大きく世の中を見ることができ、周りをしっかり燃えさせられる、そういった若い会員が困難を乗り越えていかなばと考えています。

—新型コロナウイルス感染症について—

熊谷会長：さて、世界的な問題であるコロナの話を見せていただきたいと思います。私も甲野先生も会長になって、「さあ仕事をしよう」と思った矢先のコロナでしたが、県歯会としても大変だったと思います。

甲野会長：はい、3月末ごろから「歯科医療が危ない」という報道がなされたことにより、強烈な受診抑制が起きました。そこで、まずは広島県民に「歯科医療は安全だ」というメッセージを発信することが必要だと考え、先生方にもポスターとしてお配りした「広島県民の皆様へ」を発信しました。これには、熊谷会長にはいろいろとご尽力いただきましたが、全国的に高く評価され、本当に多くの歯科医師会から、「その内容を使わせてくれ」という依頼が殺到したくらいです。そして、その次に行ったことは、会員の現状把握です。先生方にアンケート調査を行い、実態把握に努めました。

熊谷会長：あの、アンケート調査は、私たち郡市地区でなにをすべきかを判断するうえでも大変に助かりました。改めて感謝したいと思います。

甲野会長：今、先生方がお困りのこととして、各種助成金などの手続きがよくわからないということがあると思っています。今後も、広島県からの100万円の感染予防の助成金の申請など、わかりやすく会員の先生方に発信していこうと思っています。

熊谷会長：コロナでいえば、リモート会議などはどうですか？

甲野会長：県歯会では、早くからリモート会議を導入していますし、「令和2年度診療報酬改定説明会」も動画配信を行いました。なかなか、難しい問題もありますが、マニフェストでもお約束している部分でもありますので、IT化の推進はもっと進めていかないといけないと考えています。例えば、県歯会館内に視聴覚室を設けて中継設備を完備し、学術講演会をそこから発信すれば、より多くの先生方が聴取しやすくなると思います。

熊谷会長：これらの分野は、コストもかかりますので、各都市地区がそれぞれ対応するのは難しい部分もあります。県歯会からのサポートもお願いしたいと思っています。

—新しい年に向けたメッセージ—

熊谷会長：さて、そろそろ時間も迫ってきました。最後に新しい年に向けてメッセージをいただきたいと思うのですが、先日公示された、広島県歯科医師会会長予備選挙において、先生は出馬をされず今期で退任されることを表明されました。県歯会12月理事会でその旨を表明されたときは、大変に驚いたのですが、そのあたりの心境をお聞かせいただけますか？

甲野会長：私は、2年前の会長予備選挙において、「広島県歯科医師会を若い世代へ継承！」という大命題を掲げて立候補させていただきました。そして、そのために、「旧態依然」からのブレイクスルーで風通しの良い組織への方向性をつけると、お約束いたしました。加えて、立候補趣意書の中で、「長くその地位にとどまるつもりなど毛頭ありません。」とも明言させていただきました。そして今日までさまざまな改革を行ってまいりました。大きな組織が「旧態依然」から変わるということは、様々な課題をひとつずつ解決していくことだけでは持続性の点で不十分です。理事会メンバー、そして会員全体の「意

識が変わること」が必要です。広島県歯科医師会には、未だ解決すべき課題はあります。しかし、現在の広島県歯科医師会理事会は、意識改革の方向性がしっかりと根付いていると思います。ですから、同じ思いをもつリーダーさえいれば、それらの課題は必ず克服され、組織は必ず変わることができると思います。そういう思いから、私は今回お約束通り、会長の地位にとどまることをせず、今期で退任し、若い世代へ継承することを決意しました。私は、今日まで専務理事として私を支えてくれた山崎健次先生こそが、私と同じ思いをもつリーダーだと確信しています。私は、山崎先生に、次の時代の広島県歯科医師会のリーダーとして頑張ってもらいたいと強く思っています。

熊谷会長：今回山崎健次先生が、会長予備選挙で無投票当選され、会長予定者となりました。山崎先生は、副会長当時、会館建設の担当であられたので、本会の担当であった私とは何度も話し合いをさせて頂きました。このことは本会の100周年誌でも書かせていただいたのですが、山崎当時副会長には、県歯会会館内への本会事務局設置について、本当に多くの便宜を図っていただきました。そして専務理事としても、県歯会と本会との間のさまざまな調整ごとを、その都度本会の立場を十分に理解していただいていたので、本会会長としていつも感謝していました。そんな先生が、県歯会会長予定者になりましたので、これかも県歯会と本会との良い関係は続いていくと確信しています。本日は、甲野会長にはお忙しいところお時間頂き、本当にありがとうございました。そして、本年もよろしく願います。



甲野会長：私もまだ半年会長としての任期がありますので、こちらこそよろしく願います。

新春挨拶



広島市長
松井一實

“モウ”牛となって勇“モウ”果敢に
脅威（コロナ禍）を撥ね飛ばす年に

年始に当たり、謹んで御挨拶を申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染拡大の防止と経済活動の活性化を両立させながら、市民の安全・安心を守るための取組を進めています。こうした取組や広島広域都市圏の市町と連携した持続可能なまちづくりにおいては、「共助」の精神に基づく市民同士の支え合いが大切であり、こうした考えの下、昨年策定した新たな広島市総合計画に示した三つの視点に沿って着実にまちづくりを進めていきます。

まず、第1の視点である「世界に輝く平和のまち」に関しては、「ヒロシマの心」が広く市民社会の総意となるような取組を若い世代とともに進めます。また、平和首長会議加盟都市と連携し、締約国会議に核保有国とその同盟国が参加するよう要請していきます。

次に、第2の視点である「国際的に開かれた活力あるまち」に関しては、広島都心地域の「特定都市再生緊急整備地域」への指定をいかし、更なる都市機能の充実・強化を図るとともに、中央公園全体の空間づくりを進め、一帯が広島の新たな拠点となるよう取り組みます。

最後に、第3の視点である「文化が息づき豊かな人間性を育むまち」に関しては、新たな総合文化芸術イベントのプレイベントを開催するとともに、地域コミュニティを活性化し、住民同士の支え合いが根付くようにするためのビジョンを策定し、各種地域団体の連携強化を積極的に支援していきます。

今年の干支は丑(うし)です。“モウ”牛となって勇“モウ”果敢に脅威(コロナ禍)を撥ね飛ばし、世界に誇れる「まち」広島の実現に向け着実に歩みを進めていきたいと思っています。

年頭所感



衆議院議員
岸田文雄

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一般社団法人広島市歯科医師会の先生方におかれましては健やかに新しい年をお迎えになりましたことをお慶び申し上げます。

コロナ対策として世界最大規模の経済対策を行っているわが国ですが、ワクチンができるのか、またそれを適正に分配できるのか。コロナ禍で多くの企業が賞与減となり、消費の落ち込みが予想され、多くの地方の老舗企業も廃業の危機にあります。戦後最大とされるこの国難を乗り越えるためには国民の理解や協力が不可欠であり、そのためには政治は信頼回復に努めなければなりません。

今年も国の内外で様々なことがあると思いますが、引き続き政治の立場で国民の皆様の付託に応えるよう努力して参りたいと存じます。



**衆議院議員
平口 洋**

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。広島市歯科医師会の先生方には、健やかに令和3年の初春をお迎えになられたことと存じます。去年は色々と大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

去年はコロナ禍で大変な年でした。その中で、歯科医師の先生方には、PCR検査等を手伝っていただいたりしており、厚く御礼申し上げます。

歯科医療においては、口腔機能の増進を図ることが何よりも大切です。これからは、患者個々の状態に応じた口腔機能の回復をめざす歯科治療が要請されています。要請に応じた歯科医療を実現していくべく頑張ります。

コロナ禍の収束と、広島市歯科医師会の一層のご発展をお祈り申し上げます。



**参議院議員
宮沢洋一**

新年のご挨拶

去年は中国から始まったコロナウイルスによって、コロナの一年ということになってしまいました。

サーズやマーズといった新型ウイルスの時とは違い、世界中にパンデミックが広がる中で我が国も試行錯誤を繰り返しながら少しずつ落ち着きを取り戻してきました。ある程度コロナウイルスの性質もわかるようになり、また、重症化を抑えるための医療的な対処も確立しつつあります。

本年は、コロナウイルスと向き合いながら経済や生活を取り戻していく大切な一年であり政治がしっかりと機能していかなければなりません。7月からはじまるオリンピック・パラリンピックを良い機会としてコロナ禍での新しい成長を実現していかなければならないと考えています。



**広島県知事
湯崎英彦**

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素から県行政の推進、並びに、本県における歯科保健医療の発展に格別の御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県では、新たな総合計画である「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を昨年10月に策定したところであり、県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」の高まりにより、夢や希望の実現に向け、「挑戦」できる社会を目指してまいります。

皆様におかれましては、本県の保健医療行政の推進に引き続き御協力を賜りますとともに、特に、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、本県一丸となって立ち向かうべく、ともに御尽力いただけますようお願い申し上げます。

令和3年の年頭に当たり、広島市歯科医師会のますますの御発展と皆様の御多幸、御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



**広島県議会議長
中本隆志**

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

広島市歯科医師会の皆様方には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から、県民の健康増進と公衆衛生の普及向上に多大な御尽力をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、未だ世界中で猛威をふるい続けており、経済社会にかつてない打撃を与えていますが、新たに発足した菅内閣の下、本年、1年越しの東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定され、この長いトンネルの先の光となることが期待される所です。

県議会といたしましても、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策と本県経済のさらなる活性化に向け、全力を尽くしてまいりますので、本年もあい変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。



**広島県議会議員
緒方直之**

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受診を控える傾向がみられ、県民の健康面への影響が心配されています。この状況は、歯科医院にとっても影響が多大であることから、県としても国に対して更なる財政支援を働きかけるとともに、院内での感染防止対策等への支援を行っております。

是非こうした制度をご活用いただき、引き続き、市民・県民の健康づくりへのご支援とご協力を賜われれば幸甚です。

私も諸先生方と力を合わせ、この難局を打開できるよう全力を尽くしてまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



**広島県議会議員
林 大蔵**

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。皆様には、健やかで清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨年は、新型コロナウイルスの脅威に向かい合った年でもあり、我々の底力が試された年でもありました。

私も、皆様のご支援をいただき広島県議会議員初当選の栄誉にあずからしていただき、間もなく2年を迎えようとしておりますが、新型コロナへの対策も含め、これからも県民の健康増進のために、全力で取り組んで参ります。

令和も3年目となり、先行きが見通せない状況もありますが、こうした時こそ、皆様と共に、しっかりと前を向いて進んで参りたいと考えておりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



**広島市議会議員
中本 弘**

新年のご挨拶

広島市歯科医師会の皆さん 新年明けましておめでとうございます。

昨年は、世界中で新型コロナウイルス感染症の拡大により特別な年となりました。第一線で感染リスクのある中、奮闘してくださっている医療従事者の皆様に、心から感謝申し上げます。

広島市歯科医師会の「新年互礼会」が中止なるとお聞きし、皆様方に連絡が取れず新年のご挨拶をどうしようかと心配しておりましたが、「広島市歯科医師会だより新年特別号」を発刊するとのご連絡をいただき、思わず手を挙げて「おめでとうございます」と一人言いつつ新年のごあいさつをさせていただきますました。

新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、どうか今年一年が会員の皆様にとって又、広島市歯科医師会にとって良い年であることを心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



**広島市議会議員
永田雅紀**

「広島市歯科医師会だより新年特別号」によせて

2021年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。本年も変わらぬご交誼、ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが社会生活に大きく影響を及ぼす一年となりました。歯科医師会の皆様には、曝露リスク下、安心・安全な歯科医療提供にご尽力下さったことに心から感謝と敬意を表します。本年は、口腔ケアと感染症予防や全身疾患の関係性から人生百年時代を健康に生きる土台として歯科医療の重要性が再認識されており、遺憾である受診控えが解消され、早期に感染拡大が収束し、地域の皆様の健康増進に寄与されることを期待致しております。

結びに、本年が広島市歯科医師会の皆様にとり実り豊かで幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



**広島市議会議員
山路英男**

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。昨年はコロナウイルス感染症の流行で多くの個人・法人が影響を受ける中、皆様におかれましても感染のリスクがある中で、正に身を挺して治療にあたられたことに敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年口腔ケアの重要性が認知され始め、健康寿命の延伸やフレイル予防、さらには周術期の口腔ケアなど、歯科医療の重要性が増してきています。その中で、我々地方議員の使命は市民にとっても良い、このような歯科医療政策を確実に実現することです。

今年も歯科医師会の先生方にご指導頂きながら議会活動を行って参りますので、宜しくお願い致します。



**広島県歯科医師連盟
顧問 林 正夫**

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍の中で、これまでの私たち生活のあり方を大いに考えさせられた年でもありました。

こうした中私は、広島県議会議員の職を離れ、間もなく2年を迎えることとなりますが、36年間広島県議会議員として精力的に活動することができたのも、ひとえに皆様方の御支援の賜物であり、改めて厚く御礼を申し上げます。

私は、引き続き広島県歯科医師連盟の顧問という立場で、皆様方の活動を全力で応援させていただきます。

そして、一人の広島県民の立場で、特に高等教育の分野で、広島県勢の発展のために、これからも尽力して参りたいと考えています。



山崎義之

明けましておめでとうございます。私は今年7回目の丑年を迎えます。日中事変が始まった昭和12年に東京市目黒区緑ヶ丘で生まれました。当時父は東京帝国大学の口腔外科に在籍しており、昭和14年広島赤十字病院開院に伴い、初代医長として赴任するため、一家で広島に移住しました。父は8月6日は前日からの当直開けで院内で被爆負傷しましたが、来院する多数の被爆負傷者治療で一睡もせずに頑張ったようです。私は当時国民学校3年生で備後西域に疎開しており、直後に入市して、原爆の悲惨さを身をもって感

じました。

大学卒業後は大学医局員、公務員、病院勤務などを経て、2代目として父の後を継ぎ、現在は高度難聴で引退して、長男の保彦(東区支部会員)が3代目で頑張っております。私は戦前戦中戦後の激動の社会を経験して、今まで生きてきたことで、家族や皆様に感謝しております。当分は好きなアウトドアを楽しみ、次の丑年は多分あの世で迎えると思います。弥栄！



中村隆之

7回目の「丑」歳を迎える。1937年8月暑い季節に生まれた。原爆は庭から家屋に入った瞬間に「ドカーン」と！天井は抜け落ち茅葺きの家から出火、間もなく負傷した人々の姿があった。祖母はB-29を見ていて全身大傷、全身に蛆、水を欲しながら7日後に他界。野犬の肉、鉄道草の団子を食べて育った。1962年歯科医師免許取得後2017年12月末日閉院するまで55年間病気で休診することなく、建物、設備等の劣化のため患者さんには申し訳なかった。初診から保存した模型は、全てお詫びと感謝の気持ちを込めて

細かく砕いて処理した。2018年8月建築予定地の古い井戸にお祓いをした日の夕方、下血、そして吐血、紹介により始めての入院、手術することなく退院前の検査で偶然胸部大動脈瘤が見つかり、12月下旬に手術、破裂寸前であったとのこと。経過良好。1973年保育園園医から歯科健診が出来ず困っていると、今年だけ、翌年も、そして園児の生活ペースを配慮し午前中に実施し継続している。丈夫に生み育ててくれた母親に感謝し、自分に出来ることを「モーウ」少しノッシ、ノッシと歩モウと思う。





今田和秀

新年明けましておめでとうございます。

お陰様で、14日に72歳の誕生日を迎えさせて戴いた。巷での健康法は、数多く言われ、軽い運動をすること・笑うこと・体温を上げること・大きな声で歌うこと・食事と取り方に関するもの等に要約される。

私の目下の健康法は、月2, 3回のゴルフと週1回の練習、それとヨガに通う女房殿にストレッチ体操を勧められ少ししている。ゴルフは、シャンクに悩み、現在は、アイアンはウェッジ3本のみで、ユニークなクラブセッティングになっている。ウェッジも、特殊ネック形状にホーゼルが工夫されたものだ。今は、スコアにこだわらず、歩くことと、少しだけ太陽にあたることを目的に、将来、エージシュートを夢見ながらラウンドしている。今後も、心穏やかに過ごしたいものだ。



諸先生方の、ご健勝とご多幸をお祈りします。



鎌田一道

「至福の時」

コロナ渦で大変な時期ですが、新年おめでとうございます。月日の経つのは早いもので、開業して40数年が過ぎました。その間いろいろなことがありましたが、直近の出来事は、3年前脚立から落ち腰椎の圧迫骨折をしたことです。約4ヶ月程ベッド生活をし、体力低下を実感。そのままリタイヤしようと思いましたが「ボケるから働け」との声で、ぼちぼちやっています。高齢者の方が寝たきり状態になってるのが良くわかりました。

数年前、実家を整理したら「一燈を堤げ暗夜に行く、暗夜を憂うこと勿れ、只だ一燈を頼め」という書が出てきてびっくり。これは、私の好きな佐藤一斎の言志四録にある名言だからです。早速、表装して飾っています。暗夜をコロナに置き換れば、一燈は何でしょうか？

写真は、孫との対局(迷人戦)です。至福のときです。夢は孫とのラウンドです。

その為にも体力をつけ元気でいようと思います。



大平勇治

昭和、平成、令和と共に診療も様変わりしました。

昭和 50 年頃は、虫歯の洪水、多数の C4。小児では、乳歯に対する母親教育等。平成では、特に歯周病に重点がおかれ、令和に入ると院内感染予防などが挙げられます。歯科以外では、平成の後半に入ると自然災害が多発。広島も被害を被りました。地球の温暖化によるとも言われています。

これからは、防災にも目を向けねばなりません。

一方、生活環境は以前より大変良くなりました。ただ、我々の場合、相変わらず狭いスペースでの診療が気になります。他科に比べ三密気味です。

今、新型コロナウイルスで歯科は大変な影響を受けております。しかし、いずれ解決すると思います。時間がかかり、多少の浮き沈みが出て来てもここは、隠忍自重が大切と思われれます。また、この件で口中の大切さに気付いて、以前よりもっと歯科に関心を持ってくれる人が増えればと思っています。

最後に皆様にとって、令和 3 年丑年が良いお年であります様お祈り申し上げます。



歌野原実

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナ禍の昨今、今までよりステイホームの時間が多くストレスのたまる中、ゴルフは屋外スポーツで多少は許されるのではないかと思います。プレーする機会が多くなっています。

ゴルフの技量は人並みで決して上手ではありませんが嬉しい思い出としてアルバトロス(ダブルイーグル)を達成したことがあります。私が 30 才台今から 30~40 年ぐらい前、賀茂カントリークラブ OUT1 番ロングホール台風のごとき強風(フォロー)が吹いていてドライバーショットが思いの外飛距離が出てセカンドショットは右のラフから左のグリーンに向けてでした。風が強く手前にプレースするつもりで 5 番アイアンの 2 打目はグリーン前のバンカーをぎりぎり越えてカップに直接イン。運 99.99% 技量 0.01%(正確にはよく分かりませんが?)ぐらいのアルバトロスでした。

そんな事を時々思い出しながら楽しくゴルフを続けているこの頃です。



香川周平

明けましておめでとうございます。

原稿依頼が来た時、「年男？何のこと」とまったくピンと来ませんでした。自分の年齢に対する自覚がなくなっていました。思い起こせば昭和 55 年に 31 才で入会させて頂いて 40 年ちょっと。入会した頃は、自分は最期まで診療をして人生を終えるんだろうと思っていました。まさか診療を辞めて、歯科衛生士専門学校で学生の教育に専念しているとは想像もしませんでした。

その間色々ありましたが、何が幸いするかわかりません。多くの人々に助けを頂いて、今日まで来れたような気がします。

これからの残りの人生、まだまだこのままでは終わらないような気がします。これからどんなことが起こるのか、わくわくドキドキ、楽しみにしながら次の年男を目標に過ごして行きたいと思います。

今後の広島市歯科医師会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



川越則昭

「カチッ」

カチッと、音を感じ、脳の活動が一瞬静寂になった。

何かが、心の中にささやきかけてきた。

「もういいよ」と。

そして、悟った。

「今日が退職日で、明日から第二の人生が始まる。」

これは、古稀を迎える頃の出来事であった。

夕焼け。朝焼けを眺めるようになり、iPhone・iPad を使って、古墳・温泉・そば巡りもした。時には、新たな発見や感動も覚えることもあった。

しかし、違和感を感じるようになった。

責任という肩の荷が無くなったのに、また、四苦・八苦しだしている。どうも悪い癖が出てきたのかもしれない。

「心とは、何か」と問いかけ始めている。道理や理屈で、ていぎできない事柄があるのに。

また、青い鳥を探し始めていた。天の声は。幼聴だったのか。「もういいよ。」は、「まあいいか。」の聞き間違いだったのではないか。

どちらにしても、今の自分の生活には関係ない。

思い出であると思うと、少し楽になった。



梶谷和男

中区東白島で開業してます梶谷和男です。どうやら年男らしいです。原稿の依頼があるまですっかり忘れてました。赤いチャンチャンコというとても年取ったような気になりますが、本人は至って呑気というかコロナのご時世、暇な仕事を心配しつつ頭の中の80%を占めているのは「次の休み何してあそぼ?」という考えでございまして、趣味のゴルフか単車でツーリングというのが最近のパターンです。ゴルフでは諸先輩の先生方に可愛がっていただきまして、スコアより未だに飛ばしてナンボと日々ギアとスイング研究を

仕事の合間に YouTube で勉強してます。もう一つの趣味の単車は天気良ければアチコチに出かけ(最近妻も大型自動二輪の免許を取得したので)2人(2台)で四季を感じたり、その地の美味しいモノを食べたりして楽しんでます。昨年と今年は北海道も走りました。またサーキット走行で安全運転技術の向上にも精を出してます。2021年が良い年になるといいな。。



竹田 茂

広島市歯科医師会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年には年男であり、7月には「還暦」を迎えます。私は平成4年に中区で開業して、平成22年に南区に移転開業しました。今年で開業29年目です。開業した当時は60歳の自分など想像もつきませんでした。あっという間に「還暦」を迎えました。想像もつかないといえばこのコロナ禍の世の中になるなど思いもしませんでした。この原稿を書いているのが令和2年11月の終わりです。令和3年お正月にまた緊急事態宣言などが宣告されることなく、できれば令和3年のうちに元の世の中になっていることを願って新年のご挨拶にさせていただきます。

できれば令和3年のうちに元の世の中になっていることを願って新年のご挨拶にさせていただきます。



仁野克明

「昭和から平成、令和を生きて」

昭和 36 年生まれの私は、高校の卒業式で恩師に「明治、大正、昭和と激動の時代でした。これからますます世の中は変わっていくでしょうが、たくましく生きていてください」とエールを送られた記憶があります。そして時代は平成から令和へ。

世界の様々なところでパラダイムシフトが起っています。歯科界も CAD/CAM やスキャナーの開発が進み、印象材、石膏がいなくなる時代がそこまで来ています。

たくましく生きることはできませんが、世の中の流れに少しでもついていけるように仕事に携わる限り頑張っていこうと思っています。多くのよき先生方に囲まれていろんな経験をさせていただきました。これからは今までの感謝の気持ちを恩返ししていきたいと思っています。



吉田志乃

「今年こそは良い年に」

新年、明けましておめでとうございます。広島市西区でよしだ矯正歯科を開業しております吉田志乃です。私は平成 13 年 11 月に開院し、早いもので 20 年近くの月日が経ちました。いつの間にこんなに時が過ぎたのだろうと自分でも驚くばかりです。原稿の依頼をいただいたのは昨年 11 月で、「年齢がばれてしまう」という本心とは裏腹に、わかりましたと快く引き受けてしまい、どうにか断れなかったものかと後悔しましたが、観念してパソコンに向かっています。

私の予測では、令和 2 年はオリンピックが滞りなく盛大に開かれ、楽しいイベントもたくさん企画され、大勢の人が集い、活気にあふれ、景気もとても良くなると期待していました。しかし、実際はコロナの影響が深刻で、いつ収束するかもわかりません。

こんな時期だからこそ明るい話題が欲しいですが贅沢は言えません。健康に日常を送れていること、仕事を続けていけていること、マスクをすれば出かけられること、そんなささやかな事に喜びを感じながら日々を過ごしています。そんな大変な時期もあったねと話せる日が来るまで、皆様どうか健康にはくれぐれも気を付けて過ごしていきましょう。

最後になりましたが、広島市歯科医師会の皆様、何もわからない私に親切に教えてくださった方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。今後も宜しく願いいたします。皆様のご健康とご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



上田裕次

新年明けましておめでとうございます。

まだまだ若いと思っていましたが、今年還暦を迎えることになりました。平成 10 年に南区にて開業して、平成 12 年より公衆衛生部に所属させていただきました。

コロナ下の現在では考えられませんが、当時は委員会の後 2 次会、3 次会は当たり前で夜中まで飲んでいました。

平成 23 年からの土江執行部の時に公衆衛生部学校保健担当理事を拝命し 4 年間務めました。これら広島市歯科医師会の仕事を通じて多くの先生と知り合い、有意義な時間を過ごすことができました。現在の熊谷執行部には私が委員会にお誘いした先生方が理事を務めておられ、世代交代の流れを感じています。去年は世界中がコロナウイルス感染症と奮闘する 1 年でした。今年はコロナウイルス感染症が収束し、明るい年になることを祈念しています。



谷 巖範

新年明けましておめでとうございます。

去年は何と言ってもコロナ騒動に尽きる 1 年でした。患者は誰も来ないわ、株価ボードが朝方ほぼ全銘柄特別売り気配で真っ白なものもなかなか壮観でした。いつもの街の通りには客引き以外誰もおらず、絶望、世の末とはこうなのかと。

ある日「あのお店は大丈夫かな」と気になってそっと訪問したときのこと。真っ暗な入口から入ると、外から灯りがみえるとまずいようで、一番奥に通されました。大将に「接客がしたい、料理を振る舞いたい」と涙ながらに言われ、こんな思いで普段振る舞っていたのだかと思うと涙をもらいそうになりました。

現状に感謝しつつ、次の年男が来るまで何とか無事に生きていられたらいいなあと切に願うばかりです。

今年もご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



小笠原純三

新年明けましておめでとうございます。

今年で4回目の年男を迎え、月日の流れの速さに改めて驚かされます。人生も折り返しを過ぎ、自分ではまだまだ若いと思っけていても、イメージ通りに体が動かない場面も度々実感するようになり、健康面は今まで以上に注意が必要だと思っけております。

特に昨年は新型コロナウイルスによる外出自粛生活の原因により、運動不足やストレスからの健康被害が懸念されておりますが、私自身も自宅に引きこもりがちで、趣味で続けてきたランニングも疎かになりつつあります。今年には感染に注意しながら、健康維持のため頑張ろうと思っけております。

丑年は「我慢」や「発展する前触れ」を表す年になると言われているそうです。今年一年が耐え忍ぶ年ではなく、新たな発展へと繋がる希望に満ちた年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



小野裕記

中区で開業している小野裕記と申します。

歳を重ねるごとに、「食」の大切さを感じています。

栄養バランスはもちろんのこと、食事の環境も大事だと思います。

我が家では料理ができあがると家族全員がお皿を用意したりよそったり、自分のできることをします。コロナ禍で家族全員揃って食事することが多くなり、手際がよくなり、一体感が出てきたような気がします。

外食は減りましたが、妻が毎週モーニングを食べに行き始めたことをきっかけに、私もちょこちょこ同行するようになりました。開店と同時に入店するのでお客さんが少なく、短い時間で食事できるので感染予防になっていると思います。また、朝早くから活動をはじめるので充実した一日になります。

体にガタがこないよう栄養バランスに気をつけながら、今年には昨年よりもっと充実した「食」生活にしていきたいと思っけています。また皆さまとの楽しい「食」の時間を心待ちにしております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。





福島 整

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいいたします。
今年(令和3年)は丑年で、私は年男ということになるようです。
年男というものに関して、私は特段これといって思うところはございません。

また、毎年、干支を意識することも特にありません。しいて言えば、年賀状を書くときぐらいでしょうか。しかし、最近では写真入りの年賀状が主流となっているため、昔と比べ、干支を意識することも少なくなったように思えます。個人的には、たまたま12年に一度の事として、いつもの年と同じような気持ちで過ごしたいと思います。

この機会に、12年前の丑年のことを思い出してみました。

12年前の平成21年は、広島市歯科医師会に入会させていただいた年でした。あの当時は右も左も全くわからない状態でしたが、ここまで12年間過ごせたということは、ひとえに歯科医師会会員の先生方や、私の周りの方々の助けがあったのことに改めて実感しております。

まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいいたします。



清水 賢

新年あけましておめでとうございます。

「年男のひとこと」ということで、寄稿を依頼され何を題材にするか悩みましたが、やはりこれしかないでしょう！「鬼滅の刃」。もはや説明不要ですね。

皆さん映画ご覧になりましたか？めちゃうちゃいいです！泣けます！絶対大人が見るべきです。話の中で出てくる上級鬼の集団ですが、現世で例えるなら権力を笠に着て悪事を重ねる理不尽な奴らでしょうか。裁いても裁いても湧き出てくる！そんな悪者の首を「悪鬼滅殺」を合言葉に斬りまくる鬼殺隊。その中の一人、炎柱の煉獄杏寿郎。彼と彼の母親のセリフが心に染みます。生まれついて人よりも多くの才に恵まれた者はその力を世のため人のために使わねばならない、天から賜りし力で人を傷つけること、私腹を肥やすことはゆるされない。また柱(先輩、組織のトップ)ならば、後輩の盾となるのは当然だ。己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようとも、心を燃やせ、歯をくいしばって前を向いて、胸を張って生きろ！と。人生100年と考えるなら、はや折り返し付近。煉獄さんのような生き方ができるよう2021年、精進致します。



地守宏紀

新年明けましておめでとうございます。今年は元旦の休日診療当番で幕を開けました。

コロナ禍で皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

私はというと昨年はコロナの影響で仕事が減りエネルギーを消費しなくなり、歯科医師会のソフトボール大会も中止になり、体重が増えたので、9月には仕事帰りにすぐに電車に乗らず歩いてみることにしました。疲れたらいつでも広電に乗れるように線路に沿って歩き、紙屋町から十日市町・西広島・

古江・草津と徐々に距離を伸ばし、10月には自宅のある廿日市まで4時間以上かけて歩いて帰ってしまいました。妻と息子には「市内から歩いて帰った？バカじゃない」と呆れられました。

11月には大学院時代の友人と街中で飲む代わりにキャンプをしました。

以上はコロナ禍だからこそ経験できた良き思い出です。気付けば歯科医師になって20年以上経ちます。故 P.F.ドラッカーの「時間から始めよ」という金言がありますが、年齢を重ねるにつれ、仕事もプライベートも有限である時間を意識しはじめた今日この頃です。



有田一喜

「Go Forward」

新年明けましておめでとうございます。

昨年我が家ではラグビーの話題でもちきりでした。

2019 ラグビーのワールドカップが日本列島を熱狂させました。私もですが3人の子供達もラグビーをしており、この熱狂が2020になっても冷めないと信じていました。

2020は高校ラグビーの最高峰である花園大会が100周年を迎え、県予選2位のチームにも出場のチャンスがありました。息子の高校にもチャンスがあり、予選から白熱した試合が続きました。一年を通してコロナの影響でほとんど例年通りの大会や合宿が中止になる中、どのチームもいろんな思いを胸に大会に臨んでいました。もちろん保護者である我々も全力で応援していました。確かに我が家には2019のワールドカップ以来の熱狂がありそれが中心の1年でした。結論から申し上げますと、あと一步、本当に指先がかかっていたのですが出場を逃しました。

新年早々1月1日の休日診療の当番でしたがもちろん変わって頂く準備までしておりました。11月21日に最終戦に敗れ我が家での熱狂の1年はおわりました。「一度も負けないチームは年に1チームだけ」こんなシンプルな言葉に救われました。暗い話題の多かった年にこれだけ心を動かされる経験をさせてもらい子供達には感謝しかありません。今年は丑年、世界がゆっくりでも確実に力強く前進していけるよう願っております。



加藤千季

新年明けましておめでとうございます。

2020 年は新型コロナウイルスに世界中が振り回された 1 年でした。最前線でコロナと戦って下さっている医療従事者の皆様には頭の下がる思いです。

私はおばあちゃん子で、祖母は今も元気でいてくれて、しかも今年 96 歳の年女です。その祖母がよく話してくれたのが「牛には闘牛もいれば乳牛もいる。丑年の人も同じで、気の短い人もいるしのんびりした人もいる。自分は乳牛みたいにのんびりしていきたい」ということでした。私の気が短いこともあって、そう諭してくれたのだと思います。

新型コロナウイルスという未曾有の事態に接して、医院の経営状況が悪くなるなど「1 日も早く今の状況から回復してほしい」と焦る気持ちはありますが、乳牛のようにゆったりと、目の前の草をはむように、目の前の患者さんに対して一生懸命でいられるような 1 年にすることが、今年の目標です。



大塚道征

新年あけましておめでとうございます。今回「年男・年女のひとこと」の依頼を頂き、改めて自分が年男なのだと認識いたしました。

前回の丑年の時は大学 6 年生で、36 歳の自分はどうなっているのだろうと思っていましたが、まさか広島の地で開業しているとは夢にも思いませんでした。兄と一緒に働くのはちょっと嫌だと思いながらも、まあ何とかなるだろうと思っていました。多くのご縁があり、2013 年に広島で開業させて頂き、今年の 2 月で 9 年目を迎えます。多くの先生方や周りのスタッフに支えられ、何とか地域社会に貢献しております。

日々前の日より 1% 成長し続けると 1 年間で、 $1.01^{365} \approx 37.783$ 、逆に 1% ずつサボると 1 年間で、 $0.99^{365} \approx 0.026$ となります。小さな積み重ねを大事にして、今年も牛のように一步一步前に進み、明るい年にしていけたらと思います。

最後になりますが、本年も先生方からの変わらぬご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



高橋由佳

新年明けましておめでとうございます。高橋由佳と申します。

例年なら、年末年始は旅行に帰省にと大移動の季節ですが、新型コロナウイルスの影響で、残念ながらしばらく海外旅行は諦めざるを得ません。

私は海外旅行が好きで、今年のゴールデンウィークとお盆休みは、マレーシアの首都クアラルンプールを訪れました。

マレーシアは日本人がリタイヤ後、移住したい国 No.1 にも輝いており、今後もますます注目される国の1つです。

美しい外観のクアラルンプール駅は、その外観から『白亜の貴婦人』と称えられ、イギリスの影響を受けているからか東南アジアとは思えない建物でした。

またグルメではマレーシア料理、インド料理、中国料理、中国料理とマレーシア料理を融合したニョニャ料理と様々なジャンルの料理を楽しむことができ、特に中華系の料理はとても美味しかったです。

マレーシアに滞在する際は、モスク巡りをするもよし。日本では食べることのできないグルメで食い倒れるのもよし。高級ホテルで贅沢な時間を過ごすのもよし。至福の時間と、非日常味わい尽くすことができるマレーシアは、また必ず訪れたい国の1つです。

2021年、まだまだ新型コロナウイルス感染拡大への予断を許さない状況が続きそうですが、with コロナ時代を生き抜くために新しい生活様式や価値観を取り入れながら、精進する所存です。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。



表紙の説明



令和2年11月22日、市歯会会員434人の無病息災、安定経営、新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈念すべく、東広島市の西条町安芸国分寺にて護摩行を執行した。

安芸国分寺は奈良時代、聖武天皇が疫病と飢餓や反乱などによる国土の荒廃を憂い、国家の鎮護を祈念する目的で、諸国に建立を命じた国分寺のうちの1つである。境内の古代国分寺跡には聖武天皇の玉歯を埋めたとされる歯塚伝承があり、本尊の薬師如来は無明の病を治す法薬を与える医薬の仏とされる。護摩堂は広島藩主浅野家の祈禱所として18世紀後半～19世紀初頭に建立された。昭和11年に塔跡が国史跡に指定され、昭和57年に主要伽藍部分が、平成7年に西側部分が追加指定され現在に至っている。

住職2名による読経の中、護摩木を焚き、立ち昇る炎を前に座し、一心に念じた。薄暗かった堂内は赤く染まり、護摩壇正面の不動明王の迫力が増していく。熊谷会長の額には汗がにじみ、高く昇った炎を照り返した。令和3年は全会員にとって平穏無事な年になることを切に願う。

編集後記

厚生部

理事 谷 巖範

突如「だより新年特別号」発刊の企画が持ち上がり慌てふためきましたが、本当に多くの先生方のご協力のもと、無事編集まで終了し、感無量でございます。厚生部を代表し、全ての先生方、事務局の皆様がこの場をお借りして感謝、御礼申し上げます。

本稿作成にあたり、多くの先生方のお人柄、人生観に触れ、またある時は3000年の歴史を持つ護摩行に触れ、これらの経験は私の人生の宝となりました。

せっかくの楽しい食事会のあと、喉が痛い、熱っぽいとかある度に「まさか。。。」といちいちハラハラすることのない世の中に早く戻ることを祈念いたします。

委員長 土屋崇文

明けましておめでとうございます。今回のだよりを通じて様々な経験をさせていただきました。安芸国分寺での護摩行では由来などを調べるうちに歯との関連にご縁を感じました。クロスワードパズルは初めて作ったのですが、歯科用語にしぼると中々難しいものですね。楽しんでいただければ幸いです。一緒に作って頂いた厚生部の皆さまと事務局の皆さまありがとうございます！今回の新型コロナウイルス感染症が終息する事を祈念いたします。

副委員長 小島將督

2019年の夏に熊谷会長の下広島市歯科医師会会員の福利厚生を充実させるべく厚生部が立ち上がった。ところが2020年、コロナの影響により厚生部が企画していたイベントの殆どが中止となり、当たり前が当たり前でないことを突き付けられた一年となった。しかし今この時も最低限の幸せを最大限に感じながら、当たり前だった日々が戻ってくることを切に願い、今年も今できる福利厚生を立案し形にしていきたい。

委員 横村康彦

コロナや仕事のストレスからか振り返れば酒の量がふえていた私。嫁から腹が前よりでとるといわれ、恐る恐る体重計に乗ってみたら5キロの増量。確かに委員会の時にスーツを着たらベストがパンパンだったな。ワリと運動していたつもりが・・・これはいかんと一念発起。禁酒できるほどの鉄の意志は持ち合わせていませんが減酒して走る事2か月、なんとか体重は元通りに。今年はずりあえず健康診断までこのまま続けてみよう。

委員 高橋由佳

新型コロナウイルス感染拡大対策で外出を控え、家にいる時間が増えたため海外ドラマにどっぷりです。プリズンブレイク(脱獄系)、ウォーキングデッド(ゾンビ系)、オーファンブラック(クローン系)など中毒性のある飽きさせないストーリーのおかげで、楽しく過ごせています。まだまだ観たいドラマがたくさんあるので、これからのお家時間も海外ドラマのハシゴ予定です。

編集委員

広報部 理事 水内 裕之

委員長 田中 尊治

副委員長 福島 整 三保浩一郎

委員 山田英太郎 小林 裕子 鈴木 良貴



新春

クロスワードパズル



縦のカギ

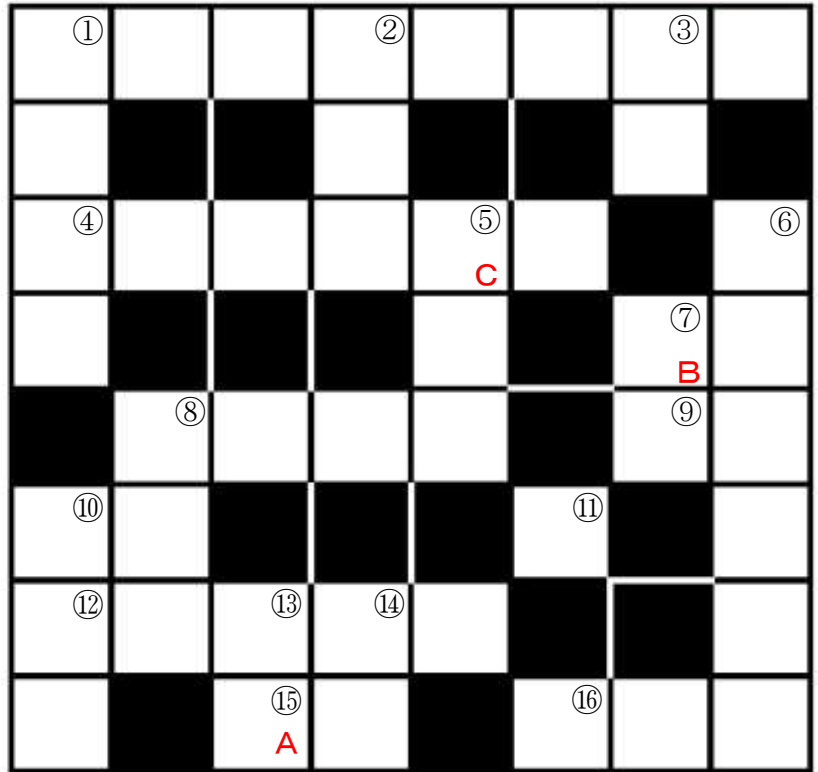
- ① 予防セヨ
- ② 拡大?! 充填?! 滑沢?!
- ③ 咬合○
- ⑤ ワレワレワ…
- ⑥ 子供に多い胴長くん
- ⑦ 腎臓のお仕事って?!
- ⑧ 審美に欠かせない色相、明度、○○
- ⑩ とれたり、割れたりしないで下さい
- ⑪ 芸能人は○が命
- ⑬ ケガをしたあとに出てくるブタって
どんなブタ?!
- ⑭ 高齢化社会において、こちらの先生との
連携は大変重要です

横のカギ

- ① 鼻下点から耳珠点を結んだ線
- ④ 薄くて歯根膜から栄養を受けている
- ⑦ 垂れて熱く固まるもの
- ⑧ IPS 細胞
- ⑨ 顎運動時に下顎頭が示す運動経路
- ⑩ 歯科医師○
- ⑫ 神経伝達遮断薬
- ⑮ インフルエンザワクチンは○○注射
- ⑯ かみ合わせ。印象と一緒に採ったりします。

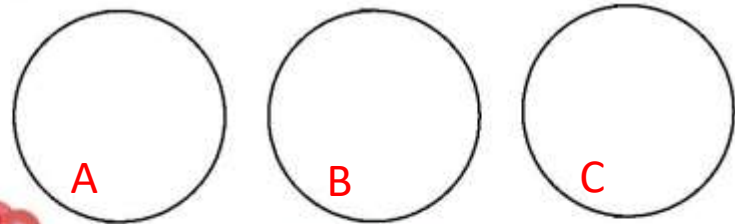
ルール

- ・ 家族で楽しむこと
- ・ パズルが分かれば応募すること
- ・ だより 2月号正解発表
- ・ 正解者はFAXで通知します
- ・ 景品交換は2月末までに



パスワード

応募は別紙で!



正解者の中から
抽選で5名様に
豪華景品が!!!



- 1等 ダイソンスティッククリーナー
- 2等 バルミューダ トースター
- 3等 松阪牛ロース
- 4等 マクセル オゾン除菌消臭器
- 5等 かにしゃぶセット

